

【様式 24】

提 案 の 概 要

施設名：庄内緑地

団体名：名古屋市みどりの協会・ミズノグループ
 (構成団体：公益財団法人名古屋市みどりの協会、美津濃株式会社)

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

1. この施設の役割、特性

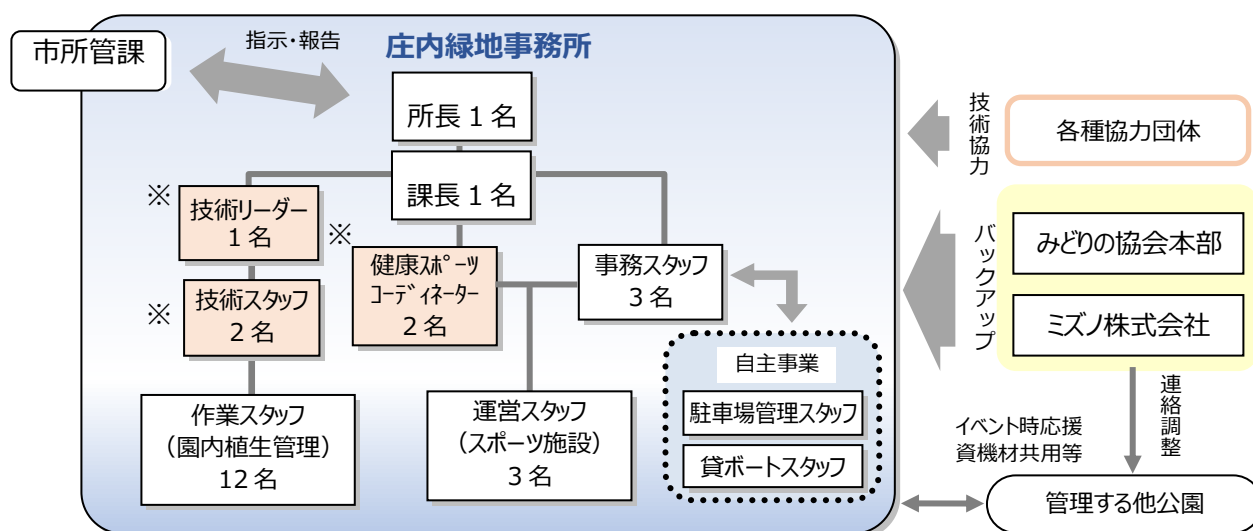
平成 26 年 8 月に名古屋市が策定した『庄内緑地管理運営方針』では、めざすべき公園像として「水・緑・太陽」の豊かな自然環境の中で、多様な活動の場をはぐくむ緑地が掲げられており、遊水地にあることから、「防災」、そして運動施設を多く有することから「健康」、そして野鳥保護区でもある樹林地を有する「みどり」がめざす公園像と理解しています。

2. 管理運営の抱負

私たちは、私たちだから知っている 17 年の管理経験を活かし、培ってきた様々な「つながりと信頼」を支えにして、庄内緑地の「みどり」、来園者の皆様の「健康」と「笑顔」、そして「公園の持つ魅力」を向上し、多世代のニーズに対応した取組みを進め、庄内緑地を次のステージへつなげていきます。

②管理運営体制

1. 責任体制、職員の配置、職務の役割分担



※ 植栽維持（緑化普及を含む）と、健康スポーツの分野には、各々の専門職を配置

2. 人材育成の取組み、他施設・公園との協力体制

- ・公園の特性に合わせた人材育成へ取組み、社会情勢等を取入れた研修や資格取得支援を、現場と本部協力のもと実施していきます。また、ボランティアにも管理運営に関わっていただき、「人」を育むことにより、庄内緑地のよりよい公園づくり、地域との協働への発展に取り組めます。
- ・私たちが管理する他施設・公園間において企画の共有や広報での協力等で互いに連携・協力を図り、名古屋市内の公園の活性化に取り組めます。

3. 災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針

- ◇緊急対応に備える、職員出勤体制（359 日対応）の継続
- ◇オリジナルハザードマップを活用した避難ルートの確認や防災訓練の実施
- ◇水害発生時における確実に速やかな復旧作業の実施

③施設の維持管理

1. 施設の維持管理と修繕

安全・安心で『快適な』公園を目指し、施設の長寿命化を見据えながら修繕を行います。

- ◇独自のアセットマネジメントプランによる公園施設の長寿命化
 - ・公園灯、ベンチ、看板類などの数の多いものや一度に修繕することの難しい構造物は、中長期的な修繕計画（簡易なアセットマネジメントプラン）を独自に策定し、公園施設の長寿命化を図ります。

2. 植物管理

- ◇樹木管理：『樹林地再生計画』（名古屋市みどりの協会が独自に策定）の遂行
 - 園内の樹木や花木園を適切に管理育成し、多様な生物、野鳥の生息する森、充実した花木園へと再生します。
- ◇草花管理：心トキメク花の育成
 - ・シンボルとなる花（バラ、ハナショウブ）、四季を彩る花を育成します。
 - ・ハーブ園をリニューアルします。ハーブのレシピも提供します。
 - ・蝶のいる庭（オーレリアンの庭）を作ります。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

<一般の施設利用に供する業務>

1. 利用者サービス向上に資する施設の管理・運営

- ◇新設されたスケートパークの利用促進と安全管理
 - ・ミズノの他施設での運用経験を活かし、利用規約やルールを示す看板や、フェンス、地面表記のデザインをリニューアルし、利用促進を図ります。また、新たなイベントの実施や入門教室を開催しスケートボードの関心をより高めていきます。
- ◇ピクニック広場（BBQ）サービスの向上
- ◇より快適なドッグランの運営
- ◇レンタサイクルサービスの充実

2. 利用者増加策

- ◇季節ごとの「コンセプト・テーマ」を軸に『庄内緑地の季節』を楽しんでもらうイベントを『3大華まつり』へ集約して実施
- ◇SNSを活用し、花の見ごろ情報、駐車場やスケートパークなどの利用状況といった庄内緑地の“今”をリアルタイム発信

3. 高齢者・身体障がい者等への対応

- ◇健康遊具のリニューアルや、車いす利用者や障がいのある方も一緒に利用できるインクルーシブ遊具の導入を検討
- ◇広報活動に於いて、『広報なごや』やみどりの協会の情報誌『行こうよ公園』、地域情報誌など、紙媒体をはじめとした従来のメディアにも積極的な情報提供の実施

<提案事業>

1. 緑の普及・啓発事業

- ◇『暮らしの中のみどり』を提案するスペースづくり
 - ・グリーンプラザを活用し、事業者の協力を得ながら、グリーンプラザの一部に家具や生活雑貨に合わせた観葉植物などを置くスペースをつくり、『暮らしの中のみどり』を提案していきます。
- ◇園芸福祉プロジェクトの拡充

2. めざす公園像に資する提案

庄内緑地のパークマネジメントプランの中で、庄内緑地のめざす公園像は、『「水・緑・太陽」の豊かな自然環境の中で、多様な活動の場をはぐくむ緑地』とされています。そして同プランの中では次の項目が指針として示されており、それぞれの指針に対応する取組みを次のように提案します。

- ◇遊水地機能の情報発信
 - ・遊水地としての重要な機能を周知していくため、庄内川河川事務所の協力を得て、園内のポール類に越流時の水位を表示します。
- ◇なごや生物多様性センターとの連携施策の充実
- ◇花とみどりを楽しむ『自然観察ルート』の選定
- ◇ランニング、ジョギング、ウォーキング、サイクリングの拠点化
- ◇子育て世代の親子に向けたイベントの充実
- ◇多国籍な利用者向けの、インフォメーションの充実

◇公園とアートの融合

- ・名古屋芸術大学と連携し、アートと公園をつなげたワークショップの企画や展示など若い世代にも魅力のある催しを展開していきます。

3. 協働（パートナーシップ）

公園の運営に参加しやすい環境や制度を整え、協働参加への意識を高め、また、専門家や企業などの専門知識を還元する協働の場にしていきます。

◇「気軽にボランティア」（仮称）制度の創設

◇地元法人とのコミュニティネットワーク創りの取組み

◇庄内緑地の講習会で野鳥観察会を開催している日本野鳥の会との協働

◇ツバキの育種・販売を行う事業者との協働

②自主事業

1. 公園の魅力を向上させ、利用を促進する自主事業

◇ミズノ運動プログラムの拡充実施

パークヨガ、ノルディックウォーキングなど緑の中で体を動かして楽しめる新規講座の開催やスケートパークでの競技会、スケートボード教室を開催し、スポーツに取り組むきっかけづくりを行います。

◇アトラクション型運動プログラムの実施

運動プログラムの体験会や区民まつりなどの大規模な催事でアトラクション型イベントを行うことで、スポーツに取り組むきっかけとし、既存スクールの参加者増加、市民の健康増進につなげます。

◇ランニングステーションの設置、運営の検討

◇みどりのパークカフェとして実施しているキッチンカーサービスの充実

- ・利用者のニーズをとらえた店舗の展開やメニューの多様化を図ります。

◇BBQサービスの展開

- ・レンタルサービスでの事業性に加えて、ゴミ回収サービスを積極的に展開し、環境美化に努めます。

◇駐車場の利便性向上

- ・入出庫口が1か所しかなく、満車（643台）時の出庫対策が重要であるため、出庫渋滞に備えキャッシュレス決済の導入、つり銭の少ない新しい料金体系の提案や混雑時の臨時精算所の設置、人による精算介助の実施などの対策を行います。

2. 健康・スポーツに関わる、多彩なイベントの展開

◇トップアスリートと直接ふれあえるイベントの実施

- ・ミズノと契約するトップアスリート等によるトークイベントや講演会を開催。直接の指導やふれあえる機会を創出し、庄内緑地をスポーツ活性化の場としていきます。

◇スケートパークでのイベント実施や大会誘致

- ・パーク設置要望メンバーによるレッスンイベントを開催。ミズノが他都市で運営するスケートパークでのノウハウを活かし、各種大会を誘致して、スケートボードブームを盛り上げていきます。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度ごとの提案総額（各年度ごとの総計）>

令和5年度	147,000 千円
令和6年度	147,000 千円
令和7年度	147,000 千円
令和8年度	147,000 千円
令和9年度	147,000 千円

<期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）>

【収入】

(単位：円)

費 目	内 容	金 額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	735,000,000
収益事業還元金		137,350,000
収 入 計		872,350,000

【支出】

(単位：円)

費 目	内 容	金 額
人件費	人件費及び福利厚生費	384,200,000
光熱水費	電気、ガス、水道料金	95,000,000
管理費	清掃費、建物管理費、植物管理費、設備保守点検費、修繕工事費、講習会・展示会費、イベント・催事費、広報・宣伝費委託料等	287,750,000
事務費	消耗品費、備品購入費、一般管理経費、租税公課費等	105,400,000
支 出 計		872,350,000

※額には消費税及び地方消費税を含む。

<経費削減の取組み>

◇省エネによる経費削減

グリーンプラザ照明の LED 化や温室ボイラー費の低減などエネルギー管理を強化し、日々の節電・節水に取り組めます。

◇植物性廃棄物の処分経費の削減

維持管理で発生する落葉・剪定枝などのチップ化・堆肥化に加えて、業務委託ではなく直営でリサイクル施設や処分工場へ持込み、費用の削減を図ります。